

令和(6)年度 教科(技術) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する脂質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力, 資質・能力)

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりを通してよりよい生活や持続可能な社会を構築しようとすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	ガイダンス			社会 理科 数学 社会 道徳
	5	【A 材料と加工の技術】	技術の役割 技術の見方・考え方(4)	4	
6	生活や社会を支える材料と	材料や加工の特性(3)	3		
7	加工の技術	等角図、正投影図(4)	4		
2	8		問題解決の流れ(2)	2	
	9	材料と加工の技術による問題の解決	問題の発見と課題の設定(2)	2	
	10		製作品の設計(3)	3	
11	製作品の製作(10)		10		
3	12				
	1	これからの材料と加工の技術	これからの材料と加工の技術(3)	3	
3	2	【D 情報の技術】	コンピュータの基本操作(3) 情報モラル	4	
	3	生活や社会と情報の技術	(1)		
総時数	35時間				

令和(6)年度 教科(技術) 第(2)学年 年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する脂質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力, 資質・能力)

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりを通してよりよい生活や持続可能な社会を構築しようとすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	【B 生物育成の技術】			理科
	5	生物育成	栽培技術の基礎(4)	4	
	6	生物育成の技術による問題	作物の栽培(ラディッシュ、ミニトマト、ナス等)(5)	5	
	7	解決	社会環境とのかかわり(1)	1	
2	8	これからの生物育成の技術			道徳
	9	【D 情報の技術】	情報通信ネットワークとセキュリティ(2)	2	
	10	コンピュータと情報処理	コンピュータの基本操作(7)	7	
	11	デジタル作品の設計と制作	情報通信の基礎、情報モラル、知的財産(4)	4	
3	12	プログラムによる計測・制御	制御装置の製作(2)	2	社会
	1	双方向性のあるコンテンツ	プログラムの制作(2)	2	
	2	による問題解決		6	
	3	計測制御による問題解決	プログラム制御(6)	2	
		これからの情報の技術	社会環境とのかかわり(2)		
総時数	35時間				

令和(6)年度 教科(技術) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する脂質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力, 資質・能力)

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりを通してよりよい生活や持続可能な社会を構築しようすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	ワークシート・振り返り 定期テスト 作品	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	【E エネルギー変換の技術】 エネルギー生活と変換 電気の利用	エネルギーの利用(2) 風力発電づくり(1)	3	
	5		電気の基本(2)	2	
	6		電気回路(1)、機器の安全な利用(1)、保守点検(1)	3	
	7				
8					
2	9	運動の利用 エネルギー変換の技術による問題解決	動力の伝達や運動のしくみ(1)	2	
	10		機械部品(1)		
	11		LEDライトの製作(3) 機械部品の製作(3)	6	
12					
3	1	エネルギー変換の技術	社会環境とのかかわり(1.5)	1.5	
	2				
	3				
総時数				17.5時間	